

## 沿革

本校は、創立75年を迎え、12,900名の卒業生を輩出してきた、地域に根ざした中学校です。

- 昭和22年 荒川区立第九峡田小学校にて開校
- 昭和24年 荒川区立第四峡田小学校敷地内に新校舎落成
- 昭和27年 現在地にて開校式、独立校舎完成
- 昭和30年 校旗樹立
- 昭和33年 図書館落成
- 昭和35年 体育館落成
- 昭和42年 プール開設
- 昭和46年 鉄筋4階新校舎落成
- 昭和54年 体育館改築落成
- 平成 2年 校庭改修、夜間照明設備完成
- 平成 7年 ティームティーチング授業（理科）開始
- 平成 9年 創立50周年記念行事
- 平成13年 少人数学級編制授業（英語）開始
- 平成15年 少人数学級編制授業（数学）開始
- 平成17年 普通教室、特別教室インターネット工事完了
- 平成19年 創立60周年記念行事
- 平成21年 「輝く五中 ホタルの里」（ビオトープ）完成  
太陽光パネル設置（屋上）
- 平成20年～22年 学力の把握に関する研究指定校
- 平成24年 理科室改修
- 平成28年～29年 荒川区教育研究指定「確かな学力の育成」  
研究発表会
- 平成29年 創立70周年記念行事
- 平成30年 東京都道徳教育推進拠点校

## 校章の由来



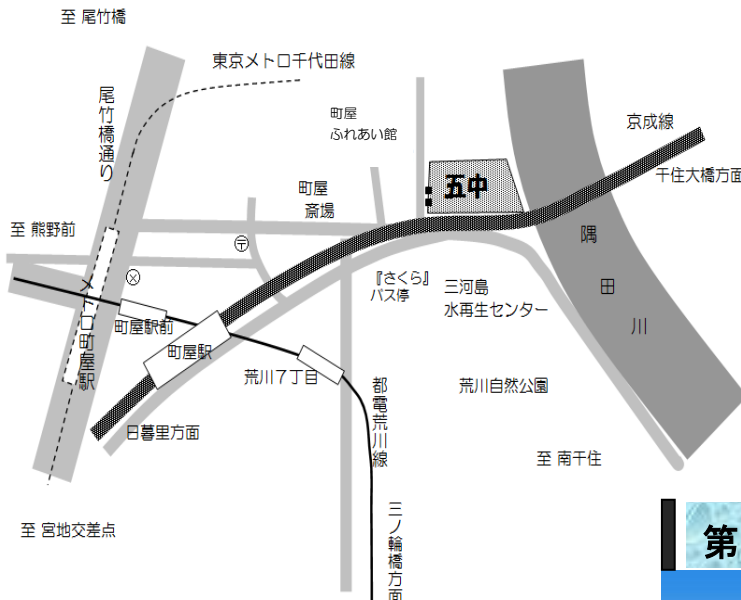
中央に五中、それを三本の線で支えています。三筋の線は荒川をさしています。全体のかたどりは梧桐（あおぎり）の葉です。五が梧に通ずるところから考えられたのですが、校章は学校精神のシンボルです。荒川の川は心の広いことを意味し寛容をあらわしています。友だちの間ではゆるしい励ましあわなければならないことを象徴しています。また、梧桐は、中国の伝説で、鳥類の王とよばれている鳳凰（ほうおう）が唯一止まる樹木です。生徒を鳳凰のひな鳥に例え、その成長を大いに願う気持ちが、この校章にあらわれています。

## 標準服 第3の制服も用意しました



男子は詰め襟学生服、女子はセーラー服です。落ち着いて学習に取り組めるよう、学校の歴史と伝統を活かした制服です。第3の制服も今年度より用意しました。（第3の制服については事前にご相談下さい）

## 学校案内図 区の中に位置する町屋駅が最寄りです



### 交通機関

◇東京メトロ千代田線・京成電鉄 町屋駅 徒歩8分

◇都電荒川線 荒川七丁目 徒歩7分

## 第五中学校校歌

一、青桐のはすえならして  
そよゆく風は明を  
おしえのままにむじむじつ  
われらつねに新たなる  
望みをもてよ

二、筑波山北にはるか  
荒川の草は伸びゆく  
まなびの庭の歴史を  
われらつねに大なる  
誇りをもてよ

三、花吹雪散りとふ朝も  
木枯しのかきくべも  
いそしめはげみ心を  
われらつねにきよなる  
理想をもてよ

第五、第五、荒川第五中学

作詞 野上 彰  
作曲 長谷川 良夫